

進む！まいづる！

【市長から】

海とともに発展してきた舞鶴市にとって、海や港は最大の資源です。人流や物流の発着点として、また、産業振興や世界の脱炭素化に向けた拠点として、重要な役割を果たしています。この優位性を生かした取り組みを加速させていきます。

TOPICS 01

11月30日 記憶・教訓を次世代による継承へ

舞鶴市戦没者追悼式

先の大戦で犠牲となった戦没者約2,400人を追悼する戦没者追悼式を開催。遺族など約350人が参列し、平和への誓いを新たにしました。

式典では司会進行を東舞鶴高放送メディア部の生徒が担い、小・中学生や高校生が献花を実施。また、舞鶴子どもコーラスによる合

唱や海上自衛隊舞鶴音楽隊と西舞鶴高吹奏楽部による合同演奏も行われるなど、若い世代も積極的に参加しました。

これからも戦争の記憶や教訓を「次世代への継承から、次世代による継承へ」とつないでいきます。



TOPICS 02

11月26日 脱炭素社会の実現に向けて

CO₂ 輸送舞鶴事業所陸上設備竣工式

関西電力株式会社舞鶴発電所から分離・回収した二酸化炭素（CO₂）を液化し、船舶で長距離輸送するための陸上設備が完成し、竣工式が開催されました。船舶での大量輸送の実績はこれまでになく、安全に低コストで大量に輸送する技術を開発するために、今後、主に舞鶴市と北海道苫小牧市までを往復する実証実験が繰り返し行われます。



TOPICS 03

11月13日 港のさらなる活用に向けて

京都舞鶴港セミナー in 福知山

関西経済圏で唯一日本海側にある京都舞鶴港を重要港湾として、さらに活用していくためのPRセミナーを5年ぶりに開催しました。京都舞鶴港が災害に強い港として注目されていることなどの説明のほか、実際に港を利用している企業から活用事例を紹介していただきました。



TOPICS 04

12月14日 舞鶴の1つの歴史に幕

第39回舞鶴市民綱引大会

学校や地域などでスポーツの振興や親睦を深めることを目的に始まった市民綱引大会。特に子ども達がスポーツをするきっかけづくりとして、学校などと協力して開催してきましたが、多くの市民に親しまれ、スポーツ活動の普及の目的を

達成したことから、惜しまれながらも、今大会で歴史に幕を閉じることになりました。

約40年の長きにわたり大会を続けてこられたのは、関係者や参加いただいた市民の皆さんのおかげです。心から感謝します。

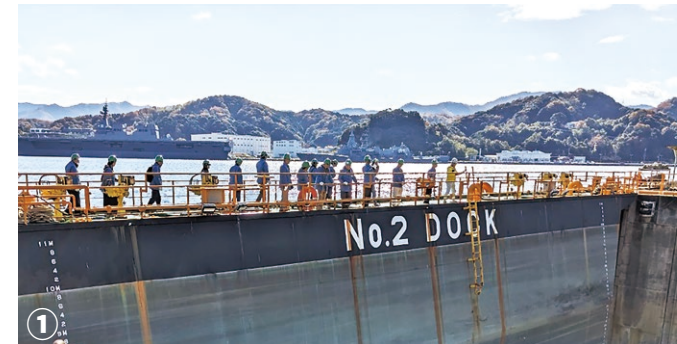


まいづるグッドカンパニーバスツアー

11月18日～30日にかけて、市内の14の事業所が普段は見られない仕事の現場を特別に公開する「まいづるグッドカンパニーツアー」を開催。高校

生をはじめ多くの若者が市内事業所の魅力を再発見しました。

《産業活力課》



- ① ジャパンマリンユナイテッド株式会社
- ② 新日本海フェリー株式会社
- ③ 株式会社パンフィックウェブ
- ④ 昭電工業株式会社
- ⑤ 有限会社辻石材店
- ⑥ 株式会社カナデビアエンジニアリング
- ⑦ 日本板硝子株式会社



中学校の休日の部活動は地域クラブ活動へ～保護者説明会を開催～

12月13日、総合文化会館で「中学校部活動の地域移行」に関する保護者説明会を初めて開催しました。

まず、市長から部活動の現状や舞鶴市が目指していることを説明し、舞鶴市部活動地域移行あり方検討会の長積仁会長から、取り組みの意義について事例を基に説明しました。また、今後の取り組み内容やスケジュールについて事務局から説明を行いました。

これまでに実態調査のアンケートや実証事業、学校の部活動顧問や地域の指導者との意見交換会など、さまざまな取り組みや準備を進めてきました。

いよいよ令和8年2学期から、まずは中学校の休日の部活動を地域クラブ活動へ移行し、子ども達が多様な地域クラブの中から自分がやりたい活動を自由に選択し、参加できる環境を整えていきます。

休日の移行の状況を見ながら、将来的には平日の移行も見据えた取り組みを進めていきます。

《学校教育課、スポーツ振興課、文化振興課》

